

国語

出題の傾向

来年度も、①現代文、②古文という出題形式に大きな変更はありません。①の現代文は評論または随筆から、漢字・語句の意味・品詞の識別・指示語・内容把握などを、②の古文は、随筆や説話などから、歴史的仮名遣い・語句の意味・内容把握などを、例年通り語注や現代語訳で補助をして出題する予定です。

2017 今年度の出題と解説

①の現代文は、『疑似科学入門』（池内了）からの出題でした。問題文の内容は、「健康というものの捉え方」についての問題点を論じた文章でした。明解な語り口で、具体例もわかりやすく、語数もそれほど多くなかったため、じっくり取り組めたと思います。

問1 漢字の問題

どれも本や新聞、ニュースなどでよく目にする言葉です。しかし、日頃から文章を読む機会が少なく、語彙力に乏しい生徒は解答に苦勞するのではないかと思います。特に、⑤「けいよう」は、正解率が低かったです。しかし、文中を見ると、「国旗」という言葉が前に出ています。小学校の頃から、運動会などで日の丸が掲げられる時に耳にしたことはありませんか？漢字を読み書きする力は、問題集などで鍛えることももちろん大切ですが、日常生活の中で鍛えられる部分も非常に大きいことを覚えておいて下さい。

問2 国文法の問題（品詞の識別）

本校では毎年出題されている問題だけに、きっちりと対策を立てて勉強してほしいと思います。①は、「矮小化されてしまった」という「動き」を表す内容を修飾しているため、副詞になります。②は、指示語で「こと」という名詞（体言）を修飾するので、連体詞です。③は、活用する語で終止形は「豊かだ」という言葉です。「だ・です」で終わる一続きの語は、形容動詞です。④は、「夜更かし」＝夜遅くまで起きていること、というように名詞の意味を持った転成名詞です。⑤は、「ない」という状態を表し、「い」で終わる言葉なので、形容詞です。助動詞の「～ない」との見分けが出来るようにしましょう。

問3 語句の意味を答える問題（選択）

常に言葉に触れる機会を増やすことが大切です。本やニュース、新聞などでわからない言葉に出合った時、辞書で言葉の意味を調べたり、聞いたりして「語彙力」を増やすことで、このような問題に対応する力が身につけていきます。国語の基礎となる力でもありますから、日頃から、言葉に敏感になっておく姿勢を養っておきましょう。また、文章の流れからどんなイメージの語かを確認することも重要です。例えば、①は、プラスイメージの語が入るだろうと推測すれば、アとエはまず除くことができます。

問4 空欄補充の問題（選択）

空欄に、適切な接続詞や副詞を入れる問題です。国語では頻出かつオーソドックスな問題です。それぞれの言葉の持つ働きと、前後の文脈を読み取る力が必要です。（A）の前には、「功を奏しているのだろうか。」後には、「科学的なのだろうか。」という二つの問題提起が続いています。ということは、ここには「添加」の意味を示す接続詞が入ると考えられます。正解は、イ「そして」です。（B）の前には、「日の丸を背負って重圧を受け……体を潰してしまう場合も見受けられる」とあり、後には「少しずつ様変わりしつつある。」「勝利よりも全力を尽くすことを…」とあるので、全く違った状況が生まれていることが分かります。つまり、前の部分を否定する言葉が述べられているので、逆接の「しかし」が入ります。（C）には、副詞が入ります。後ろの「早く死にたくない…なんでもしたいと思う」という部分をヒントに考えて「むしろ」（＝もちろん）を選びます。

問5 内容把握の問題（記述）

指示語の内容を記述する問題です。指示内容は、前の比較的近い場所に書かれているのが原則ですから、そこに着目します。さらに、傍線部を含む一文の主語・述語の関係を見て、「それ」＝「科学的なのだろうか。」という点も考慮しましょう。つまり、傍線部の前に書かれている内容で、何について「科学的かどうか」を筆者は聞いているのだろう、と考えるのが正しい道筋です。それは、「ジョギング…水泳など」ですね。ただ、それをしっかりまとめた部分もありますね。まとめた部分（＝「抽象」といいます）がある場合は、具体例を全て書くのではなく、そちらを書くように心がけましょう。最後に解答の形に合うように少し言葉を変えて、「健康維持のための様々な取り組み」とします。

問6 内容把握の問題（抜き出し）

設問をしっかり読むことが大切です。「筆者は『健康』をどのように考えているのか」とあるので、解答となる部分は、「健康とは～だ！」と筆者が示している部分になるはず。そういう意識で文中を探せば、6段落冒頭にある「健康とは」にたどり着くと思います。

問7 脱文補充の問題（選択）

脱文補充をする時には、まず設問内に抜き出された部分から、ヒントとなる言葉を見つけることがコツです。その後、周りの言葉とのつながりを見て、正しい挿入部を見つけましょう。まず、「国家第一主義」「精神主義」という言葉に注目します。そして、これとつながる内容が前後に書かれている部分を探せばいいのです。【イ】の前には、「国家を代表して」「日の丸を背負って重圧を受け」とありますので、ここが関係する部分となります。

問8 内容把握の問題（抜き出し）

設問と傍線部の近くをしっかりと読みましょう。傍線部の後には、「誤認（あやまった認識）」という言葉がありますよね。つまり、筆者は傍線部④の考えは、間違いだとしてらえているわけです。これと反対の考え方のだから、「本来こうあるべき」という考え方を探せばいいのです。2段落に書かれていますね。

問9 内容把握の問題（選択）

「呪文化」という比喩が何を示しているのかを読み解く問題です。その例は、傍線部の前、5段落全体に書かれています。まとめて言えば、「健康が本来の目的を見失っている間違った現状」のことです。この状況を、盲目的（＝理性的な判断ができない様子）という言葉で示しているエが正解になります。

問10 空欄補充の問題（記述）

内容把握の問題です。設問で与えられた一文を読めば、「忘れて」という部分から、XとYには、逆の考え方が入ることが分かりますね。Xには、プラスイメージの内容、Yにはマイナスイメージの内容を入れます。傍線部の前にある『「それ」で安心してしまおう』という指示語もヒントで、少し前に解答内容が書いてあることが分かります。二つの考えを、解答用紙に合うように記述しましょう。

問11 国文法の問題

言いかえてみましょう。たとえば、問題文の「から」＝「ので」（原因・理由）の意味を持つことが分かります。すると、簡単に答えが見えてきます。答えはエです。

問12 内容把握の問題（選択）

まず、設問の要求である「医療者の原点」を説明している部分に着目します。それは、熱意ある学生の発言内容です。まとめてみれば、「開発途上国では医療が発達していないために死ぬ人が多いから、その状況を改善したい（＝つまり、途上国の医療を改善して死を減らしたい）」ということです。これをしっかりとらえて説明している選択肢は、エになります。イは、論点が「熱意」になっている点で、設問要求とズレています。

問13 内容把握の問題（抜き出し）

ポイントは、「健全な長寿国と思えない状況」＝「確かに『長寿』ではあるが、本質的に良くない状況」だということを理解した上で、本文を見るということです。すると、3ページの11段落にある「日本は世界一の長寿国だが…」という部分が、設問の要求に一致することに気づくと思います。正解は、「寝たきり率でも世界のトップである」からになります。なお、その後にある記述から「縛り付けられた高齢者が非常に多い」という解答を書いた人もいましたが、これでは説明不足です。「ベッドに」という言葉は必要ですので、十六字という条件に合いません。減点になります。

問14 内容一致問題（選択）

内容一致の問題は、練習の際に、できるだけ消去法を使わず、正解を選びにくいように心がけて下さい。正解の根拠は、必ず本文中にあります。選択肢ばかりを見て、本文の検証をしないクセをつけると、問題のレベルが上がったときに、非常に混乱することになります。逆に、トレーニングの際に、本文をしっかりと読み込んでいくクセをつけておけば、正解率もあがりやすし、選択肢の微妙な表現に振り回されて、無駄な時間を使ってしまうこともなくなります。今回の問題では、正解は、8段落の記述から判断して、ウとなります。参考までに、アは2段落の記述と合致せず。イは全く本文中に記述がありませんので×。エは12段落で、否定的に記述されるので×となります。

②の古文は、室町時代のおとぎ草子である『御曹子島渡』からの出題です。あまりなじみのない作品ですが、内容は読みやすく、現代語訳のサポートも多くありました。また、問題の傾向も大きな変更はなかったため、基本的な古典の学習をしっかりしている受験生であれば、高得点が狙えたと思います。

【現代語訳】

心が落ち着かないまま行くうちに、日は過ぎていって、十七日目にあたる日に、（義経は）ある島にお着きになった。船をこぎ寄せて御覧になると、（島の人）みな裸で並んでいた。義経は（その様子を）御覧になって、「なんと申し上げるのか（教えてくれ）、島人たちよ、この島の名を何というか。」（とたずねる。）島の者どもは（この質問を）お聞きになり、「さようございます。昔から、（この島には、衣服を作るための）麻の種が絶滅してしまってなく、みな裸で住んでいるので、裸島と申すのです。義経様。」と申し上げた。義経はお聞きになって、「風が吹くならば、寒くはないのか」とおたずねになると、（島人の）中でも、知恵のある人が和歌を詠んだ。

風が吹くと益々寒さを感じる裸島（での暮らしです）

麻の衣を身にも付けずにいると

と詠んだところ、また、島人の中に、「いやいや、身にも付けずにいると、麻の衣はあるが、（わざわざ）身に付けていないと言っているようで、よくない」と言って、下の句を麻の衣が絶えてしまって（この島に）ないので作り直した。御曹子はこの様子を御覧になって、（和歌のたしなみがあるという）心のみやびやかである点に感心なされ、船の中から、巻絹を三百取り出しなされて、「これを身にまといなされ」といって、お与えになった。それから、今までずっと、（島人たちは）衣服を身にまとうようになったということだ。

問1 歴史的仮名遣いの問題（記述）

本校では毎年出題されている問題です。必ずできるように勉強しておいて下さい。

問2 空欄補充の問題（選択肢）

簡単な問題でした。[x]に入る言葉は、質問を受けて、島人が「島の名」を答えていることからわかります。

問3 内容把握の問題（選択）

これも「裸島」についての記述をしっかりと確認すれば、そう難しくはなかったと思います。「麻の種絶えてなく、みな裸にて住みければ」とあるところから考えましょう。

問4 内容把握の問題（選択）

和歌の内容が、返答に当たります。現代語訳を参照して下さい。

問5 語句の意味を問う問題（選択）

少し難しいところもありますが、話の流れをよく考えて解答しましょう。どの問題も、周りの内容を確認しながら答えれば、正解にたどりつけます。それぞれの正解については、現代語訳を参照して下さい。

問6 和歌の技法を答える問題（選択）

和歌の後半（下の句）が原因、前半（上の句）が結果となっていることから、文の流れとしては前後が逆になっています。これは、強調したい内容を前半に置く技法、「倒置法」です。

問7 内容把握の問題（記述）

記述問題は、前から思いついたことを書くのではなく、解答に必要なことから書くようにしましょう。まず、直した理由は、「よくなかった」からですね。まずはここから記述します。その上で、設問の要求である「三十字以内（最低でも八割の二十四字以上）になるように、「よくない」内容をしっかりと記述しましょう。

問8 内容把握の問題（選択）

文章全体の意味が分かれば、そう難しくはない問題だと思います。主人公の言葉や行動が大きなヒントになります。現代語訳を参考に考えてみましょう。島人に絹を与えている記述がありますので正解は、イ となります。

問8 文学史の問題（選択）

選択肢の作品は、全て耳にしたことがある作品だと思います。有名な作品については、国語便覧を見るなどして、どんな時代に書かれたものか、作者は誰か、どんな話なのか（簡単なあらすじ）を知っておきましょう。

対策と アドバイス

現代文の問題は、設問から、「何を答えれば良いのか」ということを読み取った上で、本文をじっくり読めば必ず解答を得られるようになっていきます。練習の際には、たまたま合った、間違えたということで一喜一憂するのではなく、自分でしっかりと根拠を持った解答をし、解答に至る道筋が本当に合っていたのか、しっかりと解説を読んで理解しましょう。時間がかかるかもしれませんが、そうすることで本当の実力がついてきます。また、日頃から読書の機会を持つことで、語彙力を増やし、文のつながりや構造を理解する力＝読解力を養うように心がけましょう。

古文では、来年度も、「漢字・口語文法（品詞の識別）・語句の意味・指示語・歴史的仮名遣い」など基本的なことを中心に問題を作成する予定です。本校独自の問題については、必ず得点できるように対策を立てることが大切ですが、全体的には、中学校の授業で学習したことを正確に身に付けることを心掛け、問題の一つでも多く解くようにしてください。また、日頃から常に文章に触れることが一番です。読書を通じてしっかりと読解力をつけ、問題演習を通して、本文の中から答えを探し出す訓練を積んでください。国語力は、全ての教科の基礎と言われています。国語の力が伸びれば、他の教科にも必ず良い影響をもたらすので、しっかりと勉強して下さい。